

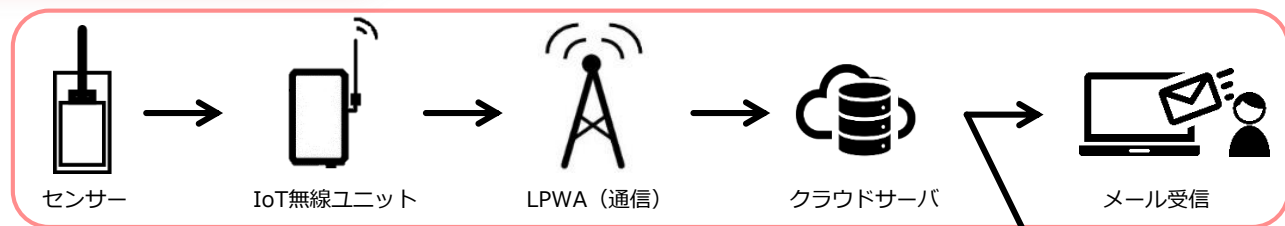
IoTで地域の防災情報を収集

IoTのメリット

- ✓ 災害時に危険な現場へ行かずにスムーズな状況把握が可能！
- ✓ メールの自動送信や監視システムの活用による迅速な情報共有！
- ✓ 平常時のデータも蓄積、分析することで異常検知などに役立ちます！



情報取得・発信の流れ



ケーブルテレビで情報発信

Channel-i は文字放送・L字放送・定点カメラ放送などを制御・送出するトータルソリューションです。緊急時の防災情報（地震、気象、避難情報）や平時のお知らせなど、お客様に合わせて様々な情報を取得し、自動で放送することが可能です。25年以上の運用実績で自治体、ケーブルテレビの自主放送をサポート致します。

地域情報マネジメントシステム
Channel-i



地域情報の「見える化」サービスを向上！

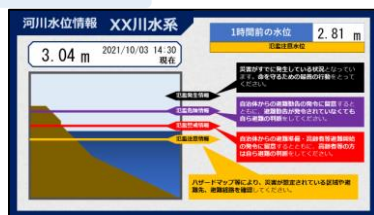
- ✓ センサーで取得したデータから画像を生成！
- ✓ 緊急割込み放送対応！
- ✓ テキストのみの放送（L字放送、字幕放送）も対応！
- ✓ Lアラート、防災メール、コンテンツプロバイダなどからの情報とも自動で連携し、迅速に情報発信！

※「Lアラート」は、総務省及び一般財団法人マルチメディア振興センターの登録商標です。（登録第5802710号）



放送

コミュニティチャンネル放送イメージ



特設サイトにて各種放送イメージを掲載中！

- ・ Channel-iの特長
- ・ 放送イメージ、導入事例
- ・ 関連情報などを紹介しています。是非ご覧ください！

Channel-i
特設サイトは
こちらから



IoT防災の一例：冠水情報の見える化

記録的短時間豪雨の増加により

河川・水路の氾濫だけでなくアンダーパス・生活道路の冠水が増加しています。
従来よりも身近な災害情報として冠水情報を伝えることで住民へのサービス向上を！

★冠水モニタリング★

設置機器

冠水センサー OHL-101W

- ・電源不要
- ・あらかじめ決まった
閾値で冠水を検出
- ・ケーブル5m付属

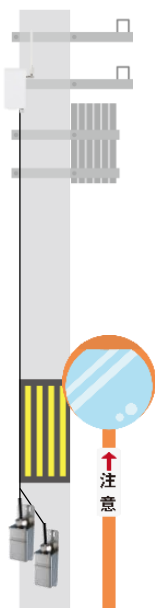


IoT無線ユニット OWU-101S

- ・電池駆動
寿命5年以上（1日10回通信として）
- ・屋外使用可能な防水構造
（IPX5）
- ・センサー2台まで接続可能



製造元：オブテックス株式会社



冠水モニタリングの特徴

- ・設置現場の冠水/復旧情報をお知らせ
- ・現場に行かなくても即座に現状把握が可能
- ・電源レス（電池内蔵）のため電気工事不要
- ・冠水/復旧情報をデータとして蓄積

センサー設置場所

河川付近



道路



アンダーパス



電気設備



★冠水状況による放送画面の変化★

✓ 冠水の通知を受け取り
自動で緊急情報を送出！

✓ 復旧後は自動で通常放送に！

✓ 地図表示が可能で
冠水地点が分かりやすい！

✓ 冠水状況に合わせた背景の
変更で分かりやすくお知らせ！

✓ カメラ映像・文字スクロール
で多彩な情報を送出！



冠水していない状態



一段階冠水した状態



二段階冠水した状態



少し雨が降ってるけど
道路は冠水してないし
いつも通り通れそう！



道路が冠水してる！
安全のためにこの道は通ら
ないようにしよう・・・



道路が冠水してる！
危ないから今日は出がけな
ないようにしよう・・・



お問い合わせ先